

年 度	2022 年度		
科 目	情報試験対策Ⅱ 【演習形式】		
担 当	松永 公廣、瀬戸村 勝利	使用教室	34 教室
実 務 経 験	<p>松永公廣：専門学校や大学で、「プログラミング」、「電気計測」、「経営情報システム論」、「データベース概論」などを指導してきた。博士（人間科学 大阪大学）</p> <p>瀬戸村 勝利：制御系システム開発企業において、マイクロコンピュータを組み込んだ制御機器の設計・製作などに従事。また、様々な IT システムの設計・製作業務に従事。第一種情報技術者、技術士補（情報工学部門）の資格を所持。</p>		
種 別	前期 ・ レ後期 ・ 通年		
到 達 目 標	国家試験である情報処理技術者試験「基本情報技術者試験」の合格を目指す。		
資 格 実 施 時 期	基本情報技術者試験：前期、後期 基本情報技術者試験の午前試験修了認定試験：12 月、1 月		
評 価 方 法	定期考査（中間・期末）の成績（70%）と課題提出や出席状況等の平常点（30%）の合計		
教 科 書 等	「基本情報技術者午前問題集」「基本情報技術者午後問題集」		
授 業 計 画	<p>高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能を学び、実践的な活用能力を身に付ける。</p> <p>基本情報技術者試験について、学生一人一人の習熟度や受験予定日、資格取得状況等に応じて、下記の出題範囲の中から、適宜、問題演習・解答・解説を実施する。</p> <p>本試験を合格した学生に対しては、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）の上位の試験である「応用情報技術者試験」の受験準備に対応する。</p> <p>また IPA の下位の試験であり、IT を利活用する人が備えておくべき基礎的な知識技能と問う試験である「IT パスポート」の受験を希望する学生には、それに対応すべく問題演習・解答・解説を実施し、資格取得を目指す。</p> <p>各週のテーマに沿って知識確認演習、発展演習を行う。</p> <p>1 週目 プログラミング、プログラム言語、いろいろなプログラム言語</p> <p>2 週目 ファイルシステム、開発ツール、オープンソースソフトウェア</p> <p>3 週目 データ操作、トランザクション処理、データベース応用</p> <p>4 週目 ネットワーク方式、データ通信と制御、通信プロトコル、ネットワーク管理、ネットワーク応用</p>		

授 業 計 画	5 週目 セキュリティ技術評価、情報セキュリティ対策、セキュリティ実装技術
	6 週目 ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築、ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト
	7 週目 知的財産適用管理、開発環境管理、構成管理・変更管理
	8 週目 プロジェクトのコスト、プロジェクトのリスク、プロジェクトの品質、プロジェクトの調達、プロジェクトのコミュニケーション
	9 週目 パフォーマンス評価及び改善、サービスの運用、ファシリティマネジメント
	10 週目 システム監査、内部統制
	11 週目 情報システム戦略、業務プロセス、システム活用促進・評価
	12 週目 システム化計画、要件定義、調達計画・実施
	13 週目 経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略と目標・評価
	14 週目 ビジネスインダストリ、ビジネスシステム、e-ビジネス、民生機器、産業機器
	15 週目 OR・IE、会計・財務
	16 週目 セキュリティ関連法規、労働関連・取引関連法規、ガイドライン・技術者倫理、標準化関連
	17 週目 セキュリティ関連法規、労働関連法規、技術者倫理、標準化関連